

「CDIB クロスボーダーイノベーションファンド」は台湾、日本、タイと提携 産業と地域の枠を超えた国際的なプラットフォームを構築



<写真説明>「CDIB クロスボーダーイノベーションファンド」は国際のリソースを結びつけ、産業と地域を超えた国際的なプラットフォームを構築します。左から Timothy Rowe, Founder and CEO of CIC、Chidapa Chanthong, Director of Global Business Development & Expansion of Techsauce、Business Next Media Group 陳素蘭、台智雲 AI スーパーコンピューティングアクセラレーターCEO 周秉輝、開発創新管理顧問股份有限公司總經理 郭大經。

台湾ベンチャーキャピタル大手の CDIB キャピタル傘下の開発創新管理顧問（日本法人所在地：東京都新宿区、総経理：郭大經）今年 8 月に「CDIB クロスボーダーイノベーションファンド」の設立を発表しました。このファンドより、台湾と日本のスタートアップエコシステムを深化し、台日のリソースを結びつける架け橋となることを目指し、双方のスタートアップ支援を推進しています。11 月 21、22、23 日三日間開催された台湾最大の国際スタートアップイベント「Meet Taipei イノベーション&スタートアップカーニバル」において、台智雲 AI スーパーコンピューティングアクセラレーター(Taiwan Web Service Corporation AIHPC Accelerator)、国際スタートアップ拠点 CIC (Cambridge Innovation Center)、タイのデジタルテクノロジープラットフォーム Techsauce との提携を発表しました。この提携により、台湾、日本、タイなどの国際リソースを連携させ、産業や地域の枠を超えたスタートアップ向けの国際的なプラットフォームを構築します。

CDIB キャピタルの総経理南怡君氏は、「AI に関連するスタートアップ企業を支援する台智雲 AI スーパーコンピューティングアクセラレーターとの提携を通じて、スタートアップはアクセラレーターのリソースと投資サポートによる

全面的な支援を受けることができ、起業の道をより迅速に、さらに遠くまで進めるでしょう。」と述べました。また、CIC Tokyo や Techsauce との提携は地域を超えた協力を象徴しており、国際パートナーの参加によって、台湾のスタートアップに国際的な視点が提供され、日本や東南アジアの新市場開拓を支援します。

今年の「Meet Taipei イノベーション&スタートアップカーニバル」のテーマは「TAIWAN + 1」で、開発創新管理顧問もこのテーマに基づき、グローバルインキュベーターの Garage+ と共同で「共に歩む力」というテーマのパビリオンを開設しました。このパビリオンにて、起業育成、企業リソース、スタートアップへの投資、国際連携に関連する講演やセミナーを多数開催しました。これにより、日本市場進出を目指すスタートアップ企業に有益なアドバイスを提供しました。台日スタートアップの双方向的な発展に向けた新たな可能性を切り拓きます。開発創新管理顧問の総経理郭大経氏は、「CDIB クロスボーダーイノベーションファンド」の重要な目標は、スタートアップが国際舞台で成功するために必要な資源、つまり資金と現地のネットワークを提供することです。これからも産業と地域の枠を広げ続けることで、スタートアップは重要なパートナーとの連携を実現します。

「台日交流フォーラム」では、Shibuya Startup Support and Shibuya Startup KK を招き、渋谷が具体的にスタートアップ支援を推進しているかを紹介いただきました。また、Silicon Valley Ventures が日本のスタートアップエコシステムを分析し、参加者に日本のスタートアップ現状への深い理解を提供します。さらに、日本のベンチャーキャピタルの Cool Japan Fund やみずほキャピタルと台湾スタートアップ企業の対話を通じて、両者間のイノベーション連携を加速します。

今回のイベントでは、スタートアップが最大限の成果を得られるよう、開発創新管理顧問は「CEO ラウンドテーブル」を開催しました。日本のスタートアップエコシステムにおける主要パートナーの CIC、Cool Japan Fund、Shibuya Startup Support and Shibuya Startup KK を招き、日本市場攻略の秘訣やベンチャーキャピタルとの関わり方の重要なポイントを共有しました。また、「企業共創イベント」では、講演後にマッチングを行う形式を採用し、遠傳電信（Far EasTone Telecommunications Co., Ltd.）、LINE をはじめ、Himax、Advantech と NVIDIA などの台湾大手企業を招いて、スタートアップパートナーに対するニーズや期待を共有しました。さらに、マッチング会を通じて共通のビジョンを持つパートナーを見つけ、共に明るい未来を創造することを目指しました。

開発創新管理顧問股斌有限公司について

開発創新管理顧問股斌有限公司（CDIB Capital Innovation Advisors Corporation, 以下「CCIA」）は、台湾の最大投資会社のCDIB キャピタルの子会社です。豊富なファンドへの投資および管理経験を持っています。CCIA は 2017 年に「CDIB イノベーションアクセラレーター」と「イノベーションファンド」を設立し、台湾最大のイノベーションスタートアップの投資プラットフォームを構築することを目指しています。

2023 年 3 月に、CCIA は東京市ヶ谷に「CDIB 東京イノベーションアクセラレーター」を立ち上げました。2024 年に、CDIB クロスボーダーイノベーションファンド（以下「CCBI」）を設立しました。CCBI は、台湾と日本のクロスボーダーイノベーションを投資対象とし、日台双方の経験豊富な起業家たちがメンターとして指導し、様々な起業コースを提供し、台日のイノベーションスタートアップに力を尽くします。スタートアップが迅速に成長しグローバル市場に進出することをサポートします。

投資分野：人工知能(AI)/ブロックチェーン、デジタルトランスフォーメーション(DX)/グリーントランスフォーメーション(GX)、モバイルインターネット、インバウンド/アウトバウンド関連事業、ライフスタイル。

【会社概要】

社名：開発創新管理顧問股斌有限公司

本社所在地：〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-3 NOVEL WORK ICHIGAYA 7F

事業内容：ベンチャーキャピタル

HP：<https://www.cdibcapitalgroup.com/en/about-us>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

開発創新管理顧問股斌有限公司 担当：Vivian Dai

TEL：03-6825-2388

MAIL：vivian.dai@cdibcapital.com